

令和5年度 血液製剤適正使用部会報告

1 部会の設置目的

血液製剤の適正使用について協議し、輸血療法の安全性の向上を図るため、東京都献血推進協議会の下部組織として設置

2 開催時期

令和5年10月17日（火曜日） 午後5時から午後6時まで（WEB開催）

3 出席委員（敬称略）

部会長 小竹 桃子（保健医療局保健政策部長）
委員 田中 朝志（東京医科大学八王子医療センター 臨床検査医学科准教授）
奥山 美樹（東京都立駒込病院輸血・細胞治療科部長）
名倉 豊（東京大学医学部附属病院 副臨床検査技師長）
藤田 浩（東京都立墨東病院 輸血科部長）
横山 孝（河野臨牀医学研究所理事長）
牧野 茂義（東京都赤十字血液センター所長）
渡辺 大介（保健医療局健康安全部薬事監視担当課長）
オブザーバー 大橋 晃太（トータス往診クリニック院長）

4 議事

（1）令和5年度血液製剤適正使用推進事業の進捗状況について

- ・ 東京都輸血療法研究会
- ・ 血液製剤適正使用アドバイス事業

（2）輸血状況調査について

- ・ 令和4年輸血状況調査の結果（報告）
- ・ 令和5年輸血状況調査の実施（内容変更箇所の検討）

（3）「小規模医療機関における輸血マニュアル」の改訂について

令和5年度血液製剤適正使用推進事業 実績

1 東京都輸血療法研究会

(1) 世話人会 令和5年7月31日(月曜日) WEB開催

第22回東京都輸血療法研究会の開催に向け、実施方法、テーマ、演者等を協議

(2) 第22回 東京都輸血療法研究会の開催

日 時 : 令和5年11月27日(月曜日)

場 所 : 都庁第一本庁舎 5階 大会議場

概 要 : [「東京都輸血療法研究会」のページ](#)

[研究会参加者数の推移]

		第22回 令和5年度	第21回 令和4年度	第18回 令和1年度	第17回 平成30年度	第16回 平成29年度	第15回 平成28年度
各動画 視聴回数	医 師	4人	1人	9人	11人	17人	19人
	臨床検査技師	103人	105人	198人	252人	238人	286人
	看 護 師	4人	2人	30人	43人	26人	28人
	薬 剤 師	11人	6人	16人	12人	12人	21人
	事 務 等	16人	26人	28人	24人	39人	33人
	計	138人	140人	281人	342人	332人	387人

動画視聴回数：第19回（令和2年度） 423～701回、第20回（令和3年度） 189～405回

2 血液製剤適正使用アドバイス事業

個々の医療機関における血液製剤適正使用への取組について、輸血学の専門家を派遣し、医療機関の状況に応じた助言や最新の知見提供等を行う。令和5年度は、訪問またはweb会議方式の選択制により実施した。

- ・実績：6病院（応募15件より、新規病院、前回訪問から長期間経過している病院を優先として7病院を選定した。うち1病院が辞退。実施病院は、6病院すべて新規。4病院は訪問、2病院はweb会議方式にて実施した。）

3 輸血状況調査

都内の医療機関における血液製剤の使用状況を把握し、適正使用を推進するための資料とするため実施

(1) 令和4年輸血状況調査 結果の公表（[「東京都輸血状況調査結果」のページ](#)）

対象医療機関：都内606病院、調査対象期間：令和4年1月～12月

調査データに基づき病床規模別の血液製剤使用量の平均値を算出。各病院の実績との対比表を作成し、自院の現状把握に役立てていただけるよう返送

(2) 令和5年輸血状況調査の実施

- ・調査票「血漿分画製剤の使用状況」に、令和5年中に新規販売された製剤の追加や、名称変更した製剤名の修正および販売が終了した製剤を削除。また、血漿分画製剤の分類項目の見直しも行った。